

## 資料5 平成17年度市民の声を聴く課に寄せられた「提言」

担当課	内 容	回 答	伝達方法
商工労働観光課 農水産課	<p>キャロットジュースを番屋の宿で宿泊者に無料で提供し、宣伝を図るべき。</p> <p>番屋の湯ではどんどん売る方策を考えるべきだ。</p> <p>自分の住んでいる市営住宅の庭で、ほうれん草、チンゲン草を二毛作で作っているが良く収穫できる。石狩でも農家にほうれん草、チンゲン草などの二毛作を奨励すべきだ。</p>	<p>収穫時に地元の人参の生ジュースを限定販売をした物で、設備の問題や材料の入手時期が限られていることから、通年の販売は無理がある。今年も収穫時に販売予定である。</p> <p>生産者が自分の農業経営において何の作物を生産するかは、様々な条件などを考慮し、各々の営農計画で決めている。野菜の二毛作は各生産者が自分の経営の状況を勘案して自ら判断選択すべきものと思う。</p>	文書
庶務課 土地河川担当	<p>石狩川本流に水車を設置し水力発電をすることにより、水車に鉄球をつければ冬でも氷を割り発電ができる。発電した電力で本町地区の融雪をはどうか。</p> <p>新港の用地の有効利用を図るために、新港東に公園墓地を作るべきだ。</p> <p>本町地区の振興と観光客誘致のために、番屋の湯と石狩小学校の間に、フルシーズン使えるアスレチックと足湯の施設を作り、番屋の湯に来た客、石狩小学校の子どもたちなどに利用してもらう。</p>	<p>現状では、北海道・石狩市も財政難から事業を行う予定はないが、費用対効果が著しく高くなればならないので、現段階では非常に難しいものと考える。</p> <p>同地域においては物流・リサイクル・エネルギー関連企業を重点誘致対象企業に選定して、誘致活動を展開していて、同地域の開発目的や土地利用計画などから、ご提言の公園墓地を誘致する考えはない。</p> <p>この土地は、石狩小学校のグラウンドになっており、観光客を対象とする施設の設置は、現状ではできません。</p> <p>新たな土地を見出すことが難しく、現状では実現化は難しい。</p>	文書
企画調整課	<p>【石狩市の活性化について】</p> <p>愛知で行われているポケモンの遊園地「ポケパーク」は、期間限定で9月に終了するが、その後、石狩市に置いてはどうか。石狩なら、土地、道路も広く、石狩に観光客が沢山来ます！ポケパークの買取りにお金が掛かっても、元は取れると思う。</p>	<p>テーマパークに関する国内の状況を見ると、千葉県浦安市にある「東京ディズニーランド」のように、国内のみならず世界規模で多くのリピーターを集めている一方で、道内を含めた全国各地でつくられた多くのテーマパークが次々と破綻に追い込まれ、社会問題化している。テーマパークの開設は民間ベースとして事業が成立つか否かが重要となり、市としてのリスクは極力避けなければならないことから、その誘致について、現状においては慎重さが必要である</p>	メール
市民の声を聴く課	【広報11月号のレイアウトについて】まちの話題との区分に線を引くなどして区分がつきやすいように。	H17、12月号から「まちの話題」ともう少し差別化したレイアウト等を考える。	電話
企画調整課	交通方式として、モノレール。札幌市の地下鉄と石狩の基幹交通を結ぶ構想	「地下鉄」「鉄道」「モノレール」などの軌道系交通機関の導入を目指す取り組みを進めてきています。モノレール案では、石狩まで延長せずに札幌市内で完結すれば、開業初年度から採算が取れるという調査結果が出ているものの、札幌市においては地下鉄による累積赤字などから、新たに数百億円にも及ぶ巨額な投資をすることは難しい状況にあります。今後も、軌道系交通機関の実現を目指し粘り強く取り組む。	文書